

# 関西 LMAG ニュース

—第2号—

2013年12月発行

IEEE 関西支部 LMAG

Secretary 木戸出正継 (文責)

## 目次

- ・ LMAG (Life Members Affinity Group) とは
- ・ 1 関西 LMAG 設立から 2013 年年次総会迄 (前号要約)
- ・ 2 関西 LMAG 2013 年活動報告
- ・ 3 関西 LMAG 2014 年活動計画
- ・ 4 IEEE 関西支部の現況
- ・ 5 関西 LMAG 木戸出 Secretary からのメッセージ



関西 LMAG Banner

## LMAG (Life Members Affinity Group) とは

経験豊かなライフ会員の更なる能力向上、社会貢献、相互交流などを通じて会員の意見を吸収し会員の便益向上、IEEE 活動に寄与することなどを目的に支部内におかれるローカルなユニットです。

ライフ会員のステータスを持つ会員全員で構成され、本部への申請によって設立されました。この Life Members Affinity Group は支部内で他の委員会と同様の位置づけで活動します。

なお、IEEE 関西支部 Kansai Section Life Members Affinity Group は、2012/6/18 付けにて、東京支部について日本国内で二番目に設立されました。2013 年の関西支部 LMAG メンバーは 114 名となっています。

### 1 関西 LMAG 設立から 2013 年次総会まで

2011 年 12 月に設立申請、2012 年 6 月に設立認可、2012 年 12 月 19 日に設立総会が住友クラブ（大阪市中央区、肥後橋）にて開催され、初期役員を選出し、活動がスタートしました。

2013 年 2 月 12 日にキャンパスプラザ京都（京都市下京区、京都駅間）におきまして、関西支部総会の直前に関西 LMAG2013 年年次総会が開催され、Chair に小山正樹先生（元奈良先端科学技術大学院大学）が、橋本正弘先生（大阪電機通信大学）が Vice-Chair に、木戸出正継先生（元奈良先端科学技術大学院大学）が Secretary に、それぞれ 2013 年役員として承認されるとともに、2013 年の活動計画案が示されました。



左から橋本先生、小山先生、木戸出先生

## 2 関西 LMAG 2013 年活動報告

2013年の活動は、何より活動初年度として活動を軌道に乗せることにありました。まず、LMAGメンバーの皆様のご関心と活動内容のご希望の把握をすべく、アンケートを実施させていただきました。お寄せいただくご回答内容を参考に関西らしさを随所におこなった活動にすべく種々思案をしました結果、龍谷大学と西本願寺、あべのハルカスといった名所において現時見学会ならびに技術講演会を関西支部 TPC(Technical Program Committee)との共催という形で実施いたしました。

龍谷大学ミュージアムでは、仏教文化にかかわる様々な資料を展示するための方法として、情報技術を用いた分析と創生された情報を活用しての新たな展覧方法を、1、シルクロード石窟寺院壁画の VR 修復展示と、実寸大回廊壁画の復元展示から 4K ムービーシアターでの復元動画、2、西本願寺の虎の間の壁画の修復の2点を実例として説明され、それらの見学を行いました。

シルクロードの石窟寺院については、各国の探検隊がそれぞれに持ち帰った部分の情報を集積しつぎ合わせることで、大規模な石窟が見事に復元されていて感嘆しました。

あべのハルカスでは、その構想と建築工事時の工夫努力、制振技術、超高層エレベータ技術につき講演会にて説明を受け、オープン前の高層ビルの高層階およびそこからの眺望の見学を行いました。

いずれにおきましても、見学会の後に、有志による交流会をもちました。これも緩やかで楽しい交流をめざす LMAG ならではのイベントであると考えております。



西本願寺の庭園 虎溪の庭



制振構造フロアの見学

### 3 関西 LMAG 2014 年活動計画

2014 年も 2013 年と同じ役員体制で運営してまいります。

2014 年の活動は、活動 2 年目として活動を定着させることにあります。2013 年度同様に関西支部らしさを随所におこなった活動とすべく、関西の大学および企業を活用してと、種々思案をしております。技術講演会も関西支部 TPC(Technical Program Committee)と連携して開催していく予定です。

お楽しみにしていただくと共に、その際には LMAG メンバーの皆様の積極的なご参加をよろしくお願いいたします。

### 4 IEEE 関西支部の現況

この機会に、関西支部の現況を簡単にお伝えいたします。

2013 年 12 月時点の会員数は、2,372 名で 1998 年の関西支部設立以来、年々増加を続けております。支部傘下の関西 Chapter は 11 chapters、Student Branch は今年初めに設立認可されました同志社を含めまして 7 SBs となっております。

Japan Council の小山 Chair、白川 History Committee Chair、Region 10 の尾上 Treasurer、IEEE 本部の川本 History Committee といった要職にも関西支部の方が就かれております。

関西支部の milestone も従来 4 件でありましたが、2013 年に更に認定されたというニュースもあります。詳しくは追ってアナウンスされるということなので楽しみです。

関西支部 web page にも多くの情報が掲載されております。

(<http://www.ieee-jp.org/section/kansai/>) ”IEEE 関西支部 “で検索いただいてもすぐに見つかりますので一度ご覧下さい。

### 5 木戸出 Secretary からのメッセージ

IEEE Kansai Section の LMAG Secretary の木戸出です。今年は Kansai Section LMAG の活動初年度ということで、上記 3 項記載の諸活動を実施しました。

活動アンケートでは、その回答内容から、継続して IEEE 関係の活動に意欲を燃やされている方、今までと違った方向に時間を活用されている方、それぞれの様子が伺えました。

龍谷大学および西本願寺、あべのハルカスという 2 回の現地技術講演会を開催し、学会関連技術を中心とした講演会・見学会から一步踏み出すことができたと考えております。会合のあとには、有志による交流会も開催し、参加各位の知見・博識を元に種々の楽しい歓談のひと時ももちました。

残念ながら参加者はまだ決して多くありません。2014 年度も関心をもっていただけるプログラムを鋭意計画してまいりますので、皆様のご参加をお待ちしています。あわせまして、魅力的なプログラムのご提案も大歓迎です。ぜひ下記、事務局メールアドレスまでご連絡お願いいたします。

### 会員リニューアル手続き

まだ手続きがお済みでない方は、2014 年の会員サービス及び刊行物の継続利用の手続きをお願い致します。この手続きは、[www.ieee.org/renew](http://www.ieee.org/renew) にアクセス頂くか、本部より郵送された LM 更新手続きの用紙で行うことができます。

IEEE Life Members Fund へ寄付のご検討も併せてお願い致します。年間 30 万 US ドル以上の Life Members Fund 慈善支援は、各教育レベルにおいて工学・科学・数学への興味を増進させる活動や、電気・情報技術の歴史を残す活動、そして IEEE ライフ会員の膨大な経験の活用などの目的に使用されます。

IEEE Kansai Section Life Members Affinity Group

Newsletter 2013 年 12 月発行第 2 号

発行：IEEE 関西支部 Life Members Affinity Group

E-Mail: [lmag-kansai@ieee-jp.org](mailto:lmag-kansai@ieee-jp.org)

(エルエムエーjeeです)